猪瀬知事、辞職！
今後、どうなる徳洲会問題？

猪瀬知事 辞職表明
徳洲会問題で引責

昨年12月都知事選挙報告書、領収書偽造、虚偽記載で公選挙違反!?

地方の首長選挙でもある話、大阪のある市長が選挙で業者（身内に市議）から５００万円献金を受け取りながら、収支報告に５万円の報告。その当時の選挙の会計担当の弁？実なら、猪瀬知事が辞任ならこの市長も辞すべきである。

金銭がからみの政治家、権力に群がる人たちから選ばれる政治家・首長では決してきれいな政治はできない。しかし、その政治家を選ぶのは有権者である。

中味のある「真」の政治家を生みだすには、有権者の不祥事は未来永劫無くならないと思う。

今年の通常国会に提出
無理強いはしないというが…

教育行政 首長が執行
教育に政治権 中教審 答申案了承

毎日新聞 12月10日 夕刊 掲載

今後は政府・与党の協議で結論をまとめ、今年の通常国会に地方教育行政法の改正案を提出する。とはいえ自民党の一部や公明党からも改革への批判が出ており、協議は曲折も予想される。

答申によると、首長が自治体の教育政策の理念や目標を定める「大綱的な方針」を決め、教育委員会はそれを事前に審議・勧告する補完的な役割となる。また、首長が直接、教育長を任命・罷免できるように変更する。

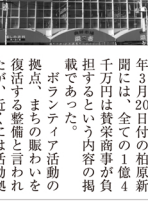
「首長が今まで以上に協議で結論をまとめ、学校現場に介入しやすくなる」という意見もあり、現状のまま、教育委員会に最終的な権限を残すべきだとの考えもあったと併記しており、協議は曲折も予想される。

中教審の委員からも

下村文科相は「多様な意見があったことを踏まえ、与党とも丁寧に協議する」と発言している。

地方教育行政の最終的な権限を、教育委員会から自治体首長に？

「学校別結果公表」の流れは一連の政治主導が顕在化し、大阪市や静岡県では、全国学力テスト実施要項に反して公表に動いている。文部科学省も「保護者や地域住民に説明責任を果たすことが重要」と言っている。「優秀な学校」と「ダメな学校」となれば、「ダメ」と烙印を押された学校の子ども達は、自らの学校への誇りが持てるのか疑問に思う。これらのリスクを回避するために、一部の大阪市の校長のようにセクハラ問題を起こすような者や、教育に対して心ない認識をもつ首長や校長を選ぶしかないので



巨額税金が流れた「栄寿ビル」
今後、市民は安心して利用できるのか？

社会福祉協議会の松永会長に「何故、あのような老朽化したビルをつかわれるのか。地震があれば崩壊するのではないか」と尋ねるとの答であった。

その費用として、一括して平成20年5月7日に4千892万1200円栄寿商事に振込まれ、その他備品として、約860万円。全ての費用について、前市長岡本氏が指示したのであるが、しかし、平成20年3月20日付の柏原新聞には、全ての1億4千万円は栄寿商事が負担するという内容の掲載であった。

ボランティア活動の拠点、まちの賑わいを復活する整備と言われたが、近くには活動拠点もあり無駄な税金が使われたと思う。

市民から、前市長が耐震化工事をするように話してみるが、あのような老朽化したビルに本当にしたいという事である。

耐震化工事はしてなかったという事である。

前市長・岡本氏の申し入れまだ汚点をひきづる市政

柏原市から社会福祉協議会に助成した3億5490万6千円が一ほのかたも一「駅前交流ひろば」のために、2億円近くが使われたのである。

助成金であっても市民の税金である。工事に対する見積書も取らずに発注したのである。

前市長岡本氏の独裁的なありかたに憤りを覚える。

れるのかも疑問視した声が届いている。市は、所有者に耐震化工事を

柏原市暴力排除条例制定される

市は、暴力団と密接な関係がある業者は排除すると共に、威嚇的な言動に市民が「怖い」と思う小さな暴力にも対応を考えるべきである。

竜田古道の里山公園維持管理費について

岡本前市長は、財政再建のためと落札額が低いだけで、他市の業者に発注。そのため廃業した業者もある。中味のある市民サービスも大切である。竜田古道の里山公園維持管理費に対しては、百条委員会でも報告されているように概算払いで六千数百万ほどの無駄使い。中野市長は、第二回定例会で「体張ってでも、維持管理費を柏羽藤環境事業組合からとる。ダメな時は、ゴミを持ちこませない」と答弁したと聞く。定例会で維持管理費の補正予算を多数の議員が承認したが、まだ実行されていない。昨年11月の決算特別委員会で、濵浦、大坪、乾、橋本、山本議員は不認定とした。

みなさんの声 募集中です。

「かしわら見張り番」へのご意見、ご希望は

電話 072（977）5502
FAX 072（977）8782
メールアドレス
info@kashiwara-mihariban.com
「かしわら見張り番」バックナンバーは
www.kashiwara-mihariban.com